

刊夕日一卅月十

常磐每日新聞

定額 一部金五圓 九月五拾銭 郵税五拾銭
廣告料 五圓以上 一行金五拾銭
日曜祭日の日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞株式會社

石城を歩める

芭蕉翁の足跡

斧 青 三 郎

この地に、二三の句に、筆を、うるをせるを思えばこの地の文明による、形ちの進展變化はさておき、滌らざる、この地の自然の形態に、昔時のおもかげを残り、加うるに芭蕉の句をして、旅する芭蕉の傍げを、偲ぶに、充分なるものがあるであらう。

煙のない石城、響のない石城の細みちを旅する芭蕉には、今の石城も、寂然たる、奥洲の旅の或る頁としての、平凡な歩み場所、すぎなかつたであらう。芭蕉が歩んだと言ふ石城の道は、今の國道をへる、東に十間ほどに位する、道幅狭き、山路であつたと云ふ。

現在、御厩村、あみだ寺

靴の濡氣を早く乾かすには

中にギッシリ新聞紙を詰めこんで風通しのよい場所に下げて置きます。

常磐六藝

ピクニック PICNIC

飯村 閑舟

さ霧も消えた秋日和、君とつれだち行く山の燃えて色づく柿の實のたとと落ちるも懐しい幼きまゝの、その姿はるか心に描きしは遠く都に住みしころホームシックの込みあげて袖に濡らした、あの涙が栗拾ふた思ひからわれ寝轉びて蓑のむけむりは空に輪を吹いて消えりや果敢ない寂しさに君を誘へて柿の實をかぞへて悦に酔ふころ

高野 島澤 易定 所象

十一月一日辛未八白佛滅収の生ずる事あれば猛進凶東西凶二黒病氣怪俄紛失に注意して家内共に健康を守るに吉未申丑寅凶三碧勢して功の無き不平の日なれど忍耐すれば後日吉水火

の難に注意南北凶四緑營業は好都合を得ると雖も水火の難に注意南北凶五黄病氣怪俄紛失盜難を注意して未申丑寅凶六白金談縁談望事進んで吉利を得る東西凶七赤他人の應援を得て金談縁談望事等訓ふの吉日戌亥と辰巳凶八白運氣滞滞の日なれば萬事進むに凶退き守るに吉なり九紫金談縁談望事皆んで吉利を進得る日戌亥と辰巳は凶

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

秋!

爽やかな秋の旅を不二の車で日光鬼怒温泉附近案内一部差上げます

不二タクシー 電話32番

雑夫募集(掃除及)

一、年齢 十五六才以上、五十五才迄にして住込みの出來得る方
一、學歷 尋卒程度、讀み書きの出來る方
一、給料は委細面談
姓名 在 社

吉田眼科病院

平紺屋町 電話六八番
院長 吉田 安雄
眼科専門 醫學士 吉田 久雄

松島名産

美味と滋養で名高い一の井のカキ貝 御料理
カキフライ 廿五銭
カキナベ 四十銭
カキス 廿五銭
一の井 電話一六七番

旭硝子株式會社製品 板ガラス

製造 販賣 硝子 食器 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 平町田町 電話五二三番
耳鼻咽喉科 外科花柳病科 レントゲン科

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します
平町町六九 喜多流 謠曲 仕舞 白土會
◇細詳は本會へ御問合せ下さり。

金銀高價買入

各國時計眼鏡貴金屬 御修繕は専門の當店へ
根本時計店 平二(電話六〇七番)

ウニ罐好評を博し

全部賣り果す

今度は味付罐詰を製造

將來本郡の重要産物に

小名濱水産試験場では今夏雲丹を試験的に罐詰製造し約二千個を試賣した所貝焼の美味と變る處がないので頗る好評で忽ち賣り盡した爲め來年度からは牛肉の大和煮の如く味付の罐詰を大量に製造して販路を獲得すべく目下味付法の研究中であるが雲丹罐の製法は一般にも公開し本郡の重要海産物とする計劃で非常な期待をかけられて居る

幼年學校

磐中入學準備

磐中に於ける今年度幼年學校入學志願者は十三名あり昨年の受験結果の不成績に鑑み明日より毎日準備を行ふ事になつたが係教諭は左の如くである

- 數學 石田 地理 吉田 歴史 中島 國語 樋口 作文 梅森 理科 高清水

稲の坪刈り入賞者

町農會が賞品授與

平町農會で去月中稲の増收坪刈品評會は過般來郡農會で審査中であつたが本日左の如く入賞者發表され來月四日町役場會議室で賞品授與式を行ふと

- (一等) 大山ナツ、白土助 次郎(二等) 鈴木吉之助、鈴木定一、猪猪角吉(三等) 猪猪金太郎、鈴木守彌、大谷良助(四等) 田

青訓主事

演習の打合

石城郡聯合青年訓練所は明日午後一時より平第一小學校に於て主事會を開き來る二十二、二十三の兩日植田方に開催される聯合發火演習に就いて種々打合せを行ふと

新米初入札

御祝儀相場好望

錦村農會よりの本年度新米百二十五俵は明日午前九時より平農會倉庫にて入札に附される最初の新米入札の事として現在米價の一俵八圓四五十錢に較べ八圓七八十錢の御祝儀相場を豫想されて居ると

磐中競技

指導を開始

磐中競技部では明日より放課後競走、砲丸投、千五百米、棒高跳、籠球、排球、庭球の指導を開始すると

發動機十二臺購入

農事の能率増進に

組合員に貸與

江名町字上神白農會實行組合では役員能率増進を圖る爲め三百餘圓を投じて農具用發動機十二臺を購入明日午前十時より機械の試運転を行ひ是れを組合員に貸與する

平青訓の

授業開始

科目と擔任者

平青年訓練所では來る二日午後六時より平第一小學校に於いて授業を開始するが授業時間は毎日午後九時迄で科目及び擔任者左の如くである

- (科目) 修身、公民、國語 算術、球算、地理、歴史 理科 (擔任者) 篠山校長、坂内 鈴木、大和田、井上

簡單撮影

MSカメラ

平驛前いづみや玩具店では簡單に誰にも良く撮れるMSカメラを賣出しフワシから喜ばれてゐる

カキ貝料理

滋養が豊富

南町一の井のカキ貝料理各種は何れも値が安い上に滋養豊富で評判よし

紅葉狩の

お供に重詰

田町錦水では例年の如く今年も季節向料理をお重に詰めた辨當を紅葉狩のお供にと人氣を博してゐる

お客様を

招待して

童謡の夕べ

三丁目なかや洋服店では來る四日午後六時半より聚樂館に於いて日立ハローモニカ嗜好會員及HHS管絃團一行二十餘名を迎へ童謡と舞踊の夕を催し日頃の御得意様を待すと

江戸前料理

紅葉狩にはぜひ錦水の折詰

錦水

電四五四

如何なる御家庭にも

なくてはならぬ必需品……

高級 日の出磨粉

値段が安く而も極少量でも何でもキレイになり、お手をアラス事なく僅かの時間で早くキレイになる衛生と緊縮とを兼備せる、眞に時代の要求品であります是非御試用の程おすめ致します

特約店 芳賀商店 平白銀町(大音堂向)

正木織物店ノ生命也

絹織物ノ正木織物店へ

開業三十五週年を祝するため

二割引にて大々的勉強御註文に應ず

確實親切は

御註文ノ時(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス

平町字新町貳貳番(公園下)

白生地 質織販賣 正木織物店

中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

海を越えて

親善の贈り物

平少女赤十字團の手に成る お人形さんや成績品の数々

平第二小學校少女赤十字團では日米親善一つの働きとして米國加洲太平洋支部内少女赤十字團ヘクリスマスのプレゼントに手藝品、裁縫品、人形、圖書、書方等を贈る爲め準備中であるが来る十日頃までには發送する豫定である

破れ自動車がお化粧

慌て、お化粧

嚴重な検査を前にして 修繕工場大繁忙

平警察署管内に於ける秋季自動車の車體検査は來月九日より十二日迄平町八幡小路地内で行はれるが同署管内の車體數及び新車の就業

香る菊花の大輪

入山自治會館に出陳

湯本町の炭礦の蕙秋會では來月二日より五日迄自治會館に於いて菊花大會を催すが出品數は既に二百点に達して居ると

綴製作所

平商見學

平商業學校四年生約七十名は本日午後一時より本多教諭に引卒され磐炭綴製作所

天然色の
映畫海底
平館では
來る二日
より四日
平館上映
間米國フ
リンシバール社特作シカゴ
博物館發表の東都に於いて
フワンをうならした十巻に
亘る天然色のトキー映畫
「海底」を上映するが子供達
にも解る至極教育的觀物で
あると

精神作興
國旗掲揚
平町各
校及び各小學校では來る十
日の國民精神作興詔書御下
賜記念日に際し國旗を掲揚
なし各校長の講話があると
あると

武勳輝く

勇士達に記念品

平町各種團體より贈呈

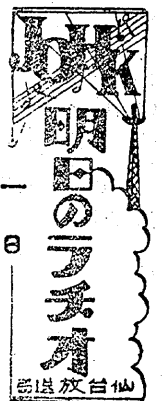
平町役場では來月三日明治節の佳辰を卜し午前九時半より役場會議室に於いて平町出身軍人左記十三名に對し平町各種公共團體より贈呈する満洲事變從軍記念品の銀杯授與式を舉行すると

- 柳町井上榮市 三丁目柏原英介 堤ノ内湯谷四三郎 梅香町猪狩數三 一丁目長瀬惠伊太郎 長橋町菅野淺雄 田町大島熊一 中町水野喜 平南町長谷川芳雄 研町佐藤亥之吉 鎌田町小林隆雄 正月町木村石三 四丁目志賀豊晴

重病の身

北海道から 徒歩で平へ

平町役場に本日一名の勞働者が空腹で歩行出來ずと救



明日のラジオ

今晚は北の風曇明
日は北西の風天気
良なる見込

- #### 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「べからず退治」
 - 〇A K 唱歌隊外
 - 後六、二五 基礎佛語講座 (十四) 目黒三郎
 - 後七、三〇 落語「素人鯉」 林家正藏
 - 後七、五五 歌謡曲 (其の

交換手希望最多

女生徒の就職希望別

裁判所だより

平第二小學校に於ける來春三月高等科を卒業する生徒は百四十名であるがこの内既に就職希望の決した者は十九名で希望別は左の如くである

交換手 九事務員 二給仕 一ミン見習 二看護婦 三結髪徒 一

警中校長快方

校長小椋山久作氏は過般來腫物が出來て新川町諸橋外科醫院に入院加療中であるが経過頗る良く後二三日で退院せられる由

教育誌「歩み」

小學校研究會では去る十三日の戊申詔書御下賜記念日に際し「歩み」なる教育研究雜誌を創刊したが今後は毎學期毎に發行すると

小川青年修養

小川青年團では來る五日午前十時より村役場に於いて役員會を開き各分團聯合修養會開催に就いて協議を行ふ

- #### 明日の
- 前七、〇〇 基礎英語講座 (二十三) 岡倉由三郎
 - 前七、三〇 第七回明治神宮體育大會競技實況「選抜中等學校及東京大學聯盟新人野球試合實況」神宮球場より中継
 - 前九、〇〇 料理献立「松茸のオムレツ」ライオス 小林完
 - 前九、三〇 家庭マモ (第一講)「毛糸編物」上の諸注意」青柳梅藏
 - 後〇、〇五 滿洲より「在滿朝鮮人の問題に就て」

- #### 回職を求める方
- △コック 三十二才 高卒 給料面談(田村郡某)
 - △給仕 十八才 委細面談 (渡邊村某)
 - △雜夫 四十二才 尋卒 給料面談(内郷村某)
 - △女中 二十才 平陽女出 給料面談(平町某)
 - △女中 二十二才 高卒 給料面談(玉川村某)

木村外科醫院

門專科病柳花外
院醫科外村木

際橋目丁五町平
〇九三話電

りあ便の院入炊自

銘仙と又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第七十八回 血に飢ゆる村正
手切金が三百兩

阿波太夫は皆なから相談をかけられ

阿「是やア一番仕事をしたらようございませう、モウ大體吸取つてしまひました高が佐野の絹商人絃等が山でござりませうから打附て榮さんの事をいはうぢやございませんか」

仲「冗談いつちやア行かないやアね、それだけでなくも基助を起してゐる化物に榮さんの事なんぞが云へるものかね」

阿「ナアニ此ういふのだ、花魁の身受けも承知はしたが、それに就いて榮之丞といふ間夫があるから其の間夫へ手切れをやつて呉れと吹掛るのだ」

仲「酷いねえ」
阿「ナアニ酷いのは覺悟の上だ、ソコで化物が手切れを出すといやア能くノ鼻ツ垂らした、手切を出たら取つて榮さんをアノ化物に見せておやんなせえ」
八「そんな事をして宜いんざんすか」
阿「大宜しだ、手切れが濟んだら身受の方で大袈裟に吹掛ると大體夫で驚いて終ひ、身受は御沙汰止み」

仲「そんな事をして化物が怒つて來なくなると懐が大層違ふよ」
阿「只の阿波太夫ぢやアございませんせ、天眼通を得て居る私だ、アノ化物がどんな事をして來ず居る



お化ぢやアございません、振らせやうが弄られやうが花魁を見込んで居る化物でございませぬ」
八「私はお化に見込まれたのでありんすか」
仲「勤めといふものは眞正に辛いものでございませぬ」
阿「然う事が決つたら家

歸つて火蓋を私が切りませう、宜いといやア是非當人へ金は手渡し、其時は花魁いちやついてもかまひませんせ」
八「あんな事をいひなんす……」
仲「何の位の事を云つたもんだらうね」
阿「然うさ、榮さんと手切れるといふのぢやア……マア三百兩のものは確にありませぬ」

船「そんなら三百兩といつて見るのでありんすか」
阿「一文も負らねえ所だと私しが辯舌をふるひますか

ら早速歸つて此の事を……」
阿「化物退治に掛りませう……」
二人は其儘葛屋の家へ戻りまして、阿波太夫が口を切り身受の事は八ッ橋も喜んで承知はしたが、就ては八ッ橋には養生榮之丞といふ元世話になつた客があつて、今では八ッ橋が仕送りをして居るやうな事、其方の手切金に三百兩やつて貰ひたいと花魁が申しましたと二人が代り／＼に辯を振ふのを聞いてゐた次郎左衛門、暫らく思案をしてゐた

次「何か榮之丞といふ人に昔世話になつた其の恩返しに此頃では花魁の方から世話して居るといふのは感心な事だ、そのお方に三百兩さへやれば外に申分はあるまいか」
阿「何の三百兩で手を切つた上は別に故障をいふ所はございませぬ、又丸善も藤八も葛屋夫婦をはじめとして此の阿波太夫もその席で立會ひます上からは苦情の出來やう筈もなし、萬一何事が出來ましたも私共が引受けますゆゑ御安心なすつて在つしやい」
次「然し金は直ぐにも間に合ふが、何うか榮之丞といふお方にお目にかゝり、お手渡しをいたしたいが」
阿「それア無論の事でございます、影で手切の金を出す譯にも行かず、取る譯にも参りませぬ、貴郎の見る前で花魁と榮之丞の手を切る所が今日のお肴、直に支

度に掛りませうか」
次「そう事が定まつたら榮之丞の手切れを濟ませ、夫から花魁の身受に取掛らう早速此の座敷へ榮之丞といふ人に來て貰ひ、花魁も早く來るやうにお前方で手配をして呉れるが宜い」
善「承知いたしました、使の役は我々が……」
と俄に座敷も改まり榮之丞を迎ひに行くやら、八ッ橋は番頭新造に連れられて葛屋の店へ出て來るやら、此の間に次郎左衛門は使ひをやつて佐野屋から五百兩の金を取寄せ、榮之丞が來たら渡してやらうと待つて居るのは實に迷ひ夢とは云ひながら可笑なものでございませぬ。其の中榮之丞は葛屋へ來て隠れ座敷で八ッ橋と何か密談を致しました、扱てお座敷へとお仲の案内上面には次郎左衛門藝者幫間の十四五人取巻いて居る右手の所へ年頃二十五六になる色白で瘦形で光源氏の君業平はこういふ人であつたかと思ふばかりの好男子

度には掛りませうか」
次「そう事が定まつたら榮之丞の手切れを濟ませ、夫から花魁の身受に取掛らう早速此の座敷へ榮之丞といふ人に來て貰ひ、花魁も早く來るやうにお前方で手配をして呉れるが宜い」
善「承知いたしました、使の役は我々が……」
と俄に座敷も改まり榮之丞を迎ひに行くやら、八ッ橋は番頭新造に連れられて葛屋の店へ出て來るやら、此の間に次郎左衛門は使ひをやつて佐野屋から五百兩の金を取寄せ、榮之丞が來たら渡してやらうと待つて居るのは實に迷ひ夢とは云ひながら可笑なものでございませぬ。其の中榮之丞は葛屋へ來て隠れ座敷で八ッ橋と何か密談を致しました、扱てお座敷へとお仲の案内上面には次郎左衛門藝者幫間の十四五人取巻いて居る右手の所へ年頃二十五六になる色白で瘦形で光源氏の君業平はこういふ人であつたかと思ふばかりの好男子

秋の流行は三井

本場 銘仙の各種

斯界の新柄

毛斯リン着尺の粹

秋

三井呉服店

八三三 電 三〇平

貸切の御用命は!!!

獅子吼(四四九ノ勢) マツサキ

眞先ニ……(マツサキ)

三九二タクシーへ!!!

夏から秋・冬へ!!!

「衣裳御着替」

特に勉強致します

旭屋 一六銀行

平三丁目 電四二五番

鹽 節 燈

魚問屋

店理代平命生本日大最優最

榮 盛 賀 志

(三一電)目丁四平